

業績説明会資料

2026年3月期(2025年度)決算

2026年5月22日

 **日油株式会社**

おはようございます。社長の沢村でございます。本日は、ご多忙の中、当社の業績説明会にご参加賜りまして、誠にありがとうございます。また、平素は格別のご高配をいただいておりますこと、あらためて感謝申し上げます。

それでは、2026年3月期決算についてご説明いたします。

目次

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 2026年3月期(2025年度)連結決算 | P4 ~ 8 |
| 2. 2027年3月期(2026年度)業績予想 | P10 ~ 14 |

説明内容をお示しいたします。

目次

1. 2026年3月期(2025年度)連結決算 P4 ~ 8
2. 2027年3月期(2026年度)業績予想 P10 ~ 14

はじめに2026年3月期連結決算についてご説明いたします。

4枚目のスライドをご覧ください。

2025年度業績概要

売上高、営業利益、経常利益および当期純利益全て過去最高を更新
年間配当金は、16円増配となる61円

| | 2024年度 実績 | 2025年度 実績 | 増減額 | 【億円】 | |
|-------------------------|--------------|--------------|--------|--------------------|-------|
| | | | | 2025年度 予想(2/13) | 増減額 |
| 売上高 | 2,383 | 2,580 | +197 | 2,605 | ▲25 |
| 売上総利益 | 852 | 891 | +39 | | |
| (売上総利益率) | (35.7%) | (34.5%) | | | |
| 販売費・管理費 | 398 | 417 | +18 | | |
| 営業利益 | 453 | 474 | +21 | 460 | +14 |
| (営業利益率) | (19.0%) | (18.4%) | | (17.7%) | |
| 経常利益 | 466 | 504 | +38 | 495 | +9 |
| 当期純利益* | 365 | 406 | +41 | 394 | +12 |
| 1株当たり 当期純利益 | 153.9円 | 176.3円 | +22.5円 | 171.2円 | +5.1円 |
| ※ 当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | |
| 1株当たり 配当金 | 45円 | 61円 | +16円 | 61円 | — |

4

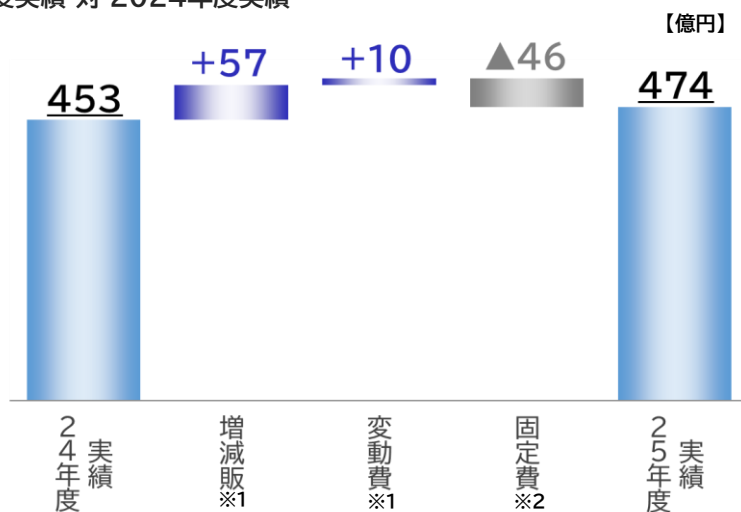
2025年度の業績は、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益全て過去最高を更新いたしました。関係者の皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝しております。

このような結果をもとに2025年度、年間配当金は、前期よりも16円増配の61円としております。

5枚目のスライドをご覧ください。

連結営業利益の差異内訳

2025年度実績 対 2024年度実績



※1 増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む
※2 固定費には、計+11億円の棚卸影響を含む

連結営業利益の対前年同期差異要因についてはご覧の通りです。
次ページより、セグメント別にてご説明いたします。

6枚目のスライドをご覧ください。

機能化学品事業

2025年度の概況

- ◆ 減収減益
- ◆ 一部を除き全般的に低調

| | 2024年度実績 | | | 2025年度実績 | | | 増減額 | | |
|---------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|-----|-----|-----|
| | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 |
| 売上高 | 755 | 755 | 1,509 | 691 | 767 | 1,458 | ▲64 | +12 | ▲52 |
| 営業利益 | 160 | 138 | 298 | 123 | 145 | 268 | ▲37 | +7 | ▲30 |
| (営業利益率) | (21.3%) | (18.2%) | (19.7%) | (17.9%) | (18.9%) | (18.4%) | | | |

営業利益差異内訳(通期)



※1 増減販及び変動費には、計▲0億円の為替影響を含む
 ※2 固定費には、計+0億円の棚卸影響を含む

売上高増減の主な要因(対前期)

- ・ 化粧品関連製品
一部顧客における在庫調整により出荷減
- ・ 特殊防錆処理剤
国内外向け自動車関連製品の需要が好調に推移
- ・ その他機能化学品全般
脂肪酸誘導体など概ね低調

機能化学品事業について、前期比較でご説明いたします。

通期の機能化学品事業は、減収減益となりました。

通期営業利益差異30億円の内訳について、増減販は化粧品関連製品で上期における一部顧客の在庫調整による出荷減など、一部を除き全般的に低調に推移したことによる減販で、マイナス14億円、変動費はスプレッド改善によりプラス7億円、固定費の増加によりマイナス22億円となりました。

7枚目のスライドをご覧ください。

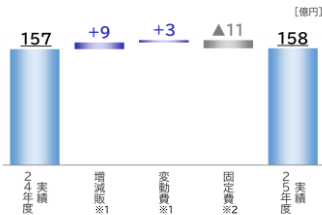
2025年度の概況

◆ 増収増益

◆ DDS医薬用製剤原料の一部顧客向けの出荷が想定を下回るも、全体としては底堅く推移 【億円】

| | 2024年度実績 | | | 2025年度実績 | | | 増減額 | | |
|---------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|-----|----|-----|
| | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 |
| 売上高 | 230 | 250 | 480 | 250 | 249 | 499 | +20 | ▲1 | +19 |
| 営業利益 | 81 | 76 | 157 | 84 | 75 | 158 | +3 | ▲2 | +1 |
| (営業利益率) | (35.1%) | (30.5%) | (32.7%) | (33.4%) | (29.9%) | (31.7%) | | | |

営業利益差異内訳(通期)



※1 増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む
 ※2 固定費には、計+8億円の棚卸影響を含む

売上高増減の主な要因(対前期)

- **DDS医薬用製剤原料**
一部顧客における上市製品の市場展開の遅延による需要減
当社製品の最低購入量契約に伴う違約金の受領
- **食用加工油脂・食品機能材**
原燃料価格の上昇を受け、適正価格維持に努めた
- **生体適合性素材**
MPC関連製品の需要が低調に推移

通期の医薬・医療・健康事業は、増収増益となりました。

通期営業利益差異1億円の内訳について、増減販はDDS医薬用製剤原料において、一部顧客における上市製品の市場展開の遅延による需要減があったものの、一部顧客との最低購入量契約に伴う違約金の受領などによりプラス9億円、変動費はプラス3億円、固定費の増加によりマイナス11億円となりました。

8枚目のスライドをご覧ください。

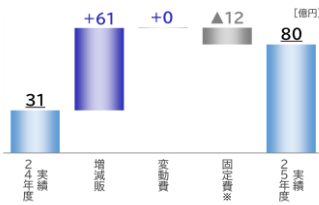
化薬事業

2025年度の概況

- ◆ 増収増益
- ◆ 防衛関連製品の売上高が増加

| | 2024年度実績 | | | 2025年度実績 | | | 増減額 | | |
|---------|----------|--------|--------|----------|---------|---------|-----|-----|------|
| | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期 | 通期 |
| | 売上高 | 117 | 271 | 388 | 147 | 470 | 617 | +31 | +198 |
| 営業利益 | 7 | 24 | 31 | 13 | 67 | 80 | +6 | +43 | +48 |
| (営業利益率) | (6.2%) | (8.9%) | (8.1%) | (8.8%) | (14.2%) | (12.9%) | | | |

営業利益差異内訳(通期)



※ 固定費には、計+3億円の棚卸影響を含む

売上高増減の主な要因(対前期)

- **防衛関連製品**
早期装備化に係る一部取引(履行義務に応じて収益を認識する契約取引)において、収益及び費用を計上
- **宇宙関連製品**
ロケット向け製品の出荷が堅調に推移

通期の化薬事業は、増収増益となりました。

通期営業利益差異48億円の内訳について、増減販は主に防衛関連製品の早期装備化に係る一部取引の収益認識などによりプラス61億円、固定費の増加によりマイナス12億円となりました。

9枚目のスライドをご覧ください。

目次

1. 2026年3月期(2025年度)連結決算 P4 ~ 8
2. 2027年3月期(2026年度)業績予想 P10 ~ 14

続いて、2027年3月期業績予想についてご説明いたします。

説明内容をお示しいたします。

2026年度業績予想の概要

売上高、営業利益、経常利益にて過去最高を更新する計画
中東情勢の緊迫化に伴う影響は、顕在化している分を業績見通しに織り込む

| | 【億円】 | | |
|----------------|--------------|--------------|--------|
| | 2025年度 実績 | 2026年度 予想 | 増減率 |
| 売上高 | 2,580 | 3,190 | +23.7% |
| 営業利益 | 474 | 500 | +5.5% |
| (営業利益率) | (18.4%) | (15.7%) | |
| 経常利益 | 504 | 510 | +1.3% |
| 当期純利益※ | 406 | 390 | ▲3.8% |
| 1株当たり 当期純利益 | 176.3円 | 169.6円 | |

※当期純利益=親会社株主に帰属する当期純利益

| <業績予想 前提> | 2025年度 実績 | 2026年度 想定 |
|--------------|--------------|--------------|
| 為替レート 円/US\$ | 150 | 150 |
| 為替レート 円/EUR | 174 | 180 |

2026年度業績予想は、売上高、営業利益、経常利益は過去最高を更新する計画としており、売上高3,190億円、営業利益500億円、経常利益510億円、当期純利益390億円を見込んでおります。

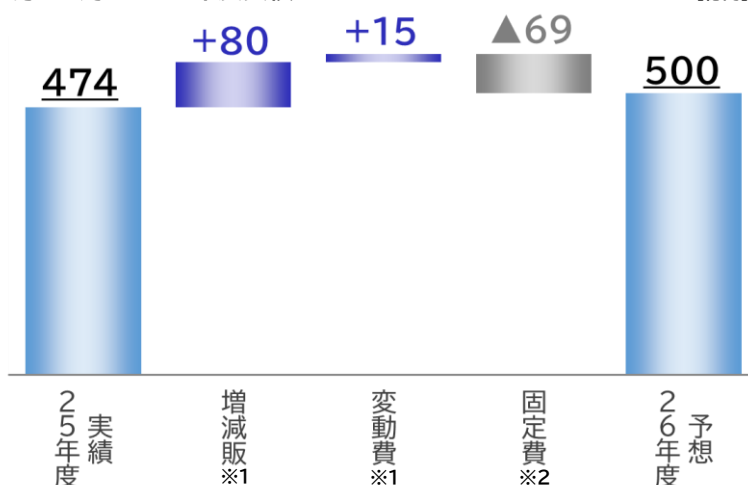
なお、中東情勢の緊迫化に伴う影響は、顕在化している分を業績見通しに織り込んでおります。

11枚目のスライドをご覧ください。

連結営業利益の差異内訳

2026年度予想 対 2025年度実績

【億円】



※1 増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む
※2 固定費には、計▲1億円の棚卸影響を含む

2026年度の営業利益の対前期差異内訳についてご説明いたします。

前年同期に対し、増減販でプラス80億円、変動費でプラス15億円となるものの、固定費の増加によりマイナス69億円となり、2026年度営業利益は対前年同期で26億円の増益となる見込みです。

12枚目のスライドをご覧ください。

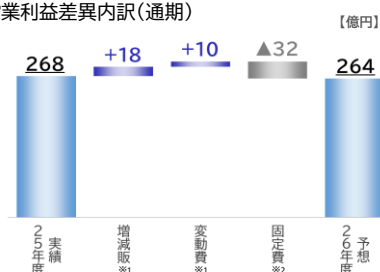
2026年度予想の概況

| | 2025年度 実績 | 2026年度 予想 | 増減額 |
|---------|--------------|--------------|-----|
| 売上高 | 1,458 | 1,555 | +97 |
| 営業利益 | 268 | 264 | ▲4 |
| (営業利益率) | (18.4%) | (17.0%) | |

【億円】 2026年度予想

- ◆ 増収減益
- ◆ 中東情勢に伴う原燃料高やサプライチェーン影響を想定
- ◆ 化粧品関連製品、特殊防錆処理剤の需要が堅調

営業利益差異内訳(通期)



※1 増減販及び変動費には、計+1億円の為替影響を含む
 ※2 固定費には、計▲2億円の棚卸影響を含む

市場環境・取組み

- **化粧品関連製品**
植物由来原料などの環境対応型原料や高機能製品(高保湿、高機能UV製品など)に注力
- **特殊防錆処理剤**
世界の自動車生産台数にて伸び悩みが想定されるものの自動車関連製品におけるシェアの維持・拡大や非自動車分野での拡販等により、成長を継続
- **その他機能化学品全般**
原燃料高騰に対する価格対応、サプライチェーン影響を織り込む

12

次に、セグメントごとの業績予想についてご説明いたします。まず、機能化学品事業です。

売上高は97億円増収の1,555億円、営業利益は4億円減益の264億円と増収減益を見込んでおります。

通期営業利益4億円の差異内訳について、増減販は化粧品関連製品および自動車関連製品の堅調な推移を見込みプラス18億円、変動費はプラス10億円、固定費の増加によりマイナス32億円を見込んでおります。

13枚目のスライドをご覧ください。

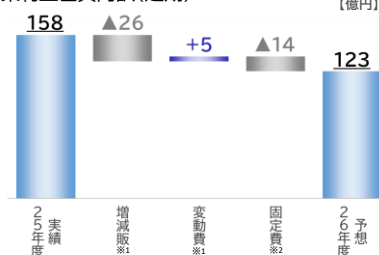
2026年度予想の概況

| | 2025年度 実績 | 2026年度 予想 | 増減額 |
|---------|--------------|--------------|-----|
| 売上高 | 499 | 502 | +3 |
| 営業利益 | 158 | 123 | ▲35 |
| (営業利益率) | (31.7%) | (24.5%) | |

2026年度予想

- ◆ 増収減益
- ◆ DDS医薬用製剤原料の一部顧客における上市製品の市場展開の遅延影響が継続
- ◆ LS愛知工場の減価償却費等の固定費増加

営業利益差異内訳(通期)



※1 増減販及び変動費には、計+0億円の為替影響を含む
 ※2 固定費には、計+1億円の棚卸影響を含む

市場環境・取組み

- DDS医薬用製剤原料
ペプチド医薬等の新規モダリティ※となる医薬品用需要の取り込みを推進
LS愛知工場の安定供給体制構築
バイオベンチャーの臨床開発遅延影響の継続
- 食用加工油脂・食品機能材
原燃料高が見込まれるものの適正価格を維持
食品機能材の拡販を実施
- 生体適合性素材
コンタクトレンズ関連素材の拡販

※モダリティ: 医薬品の創薬基盤技術の方法・手段

次に、医薬・医療・健康事業です。

売上高は3億円増収の502億円、営業利益は35億円減益の123億円と増収減益を見込んでおります。

通期営業利益35億円の差異内訳について、増減販はDDS医薬用製剤原料の一部顧客における上市製品の市場展開の遅延影響などによりマイナス26億円、変動費はプラス5億円、固定費の増加によりマイナス14億円を見込んでおります。

14枚目のスライドをご覧ください。

化薬事業

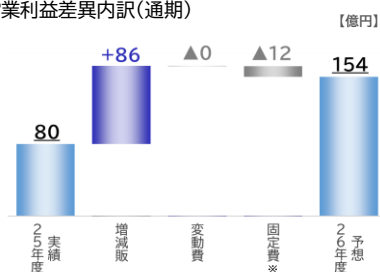
2026年度予想の概況

| | 2025年度 実績 | 2026年度 予想 | 増減額 |
|---------|--------------|--------------|------|
| 売上高 | 617 | 1,128 | +511 |
| 営業利益 | 80 | 154 | +74 |
| (営業利益率) | (12.9%) | (13.7%) | |

2026年度予想

- ◆ 増収増益
- ◆ 防衛関連製品では早期装備化に係る一部取引(履行義務に応じて収益を認識する契約取引)において、進捗に応じて収益・費用を計上

営業利益差異内訳(通期)



※ 固定費には、計+0億円の棚卸影響を含む

市場環境・取組み

- 防衛関連製品
早期装備化設備に係る工事を着実に推進
防衛関連製品の需要が堅調に推移
- 宇宙関連製品
H3ロケットの打ち上げ再開による、ロケット向け製品の出荷増

次に、化薬事業です。

売上高は511億円増収の1,128億円、営業利益は74億円増益の154億円と大幅な増収増益を見込んでおります。

通期営業利益74億円の差異内訳について、増減販は早期装備化設備に係る着実な工事進捗や防衛関連製品での需要増などにより、プラス86億円、固定費の増加によりマイナス12億円を見込んでおります。

以上が2026年3月期決算についてのご説明となります。

Appendix

2025年度通期 前期比の業績動向(主要製品)

| セグメント | 主要製品 | 売上高 | 営業利益 | 業績動向 |
|----------|--------------|-----|------|--|
| 機能化学品 | 界面活性剤 | ↓ | ↓ | 化粧品関連製品の一部顧客における在庫調整に伴う出荷減により減益 |
| | 特殊防錆処理剤 | ↑ | ↑ | 国内外の自動車関連製品の出荷が好調に推移し増益 |
| | 脂肪酸誘導体 | ↓ | ↓ | 中国における冷凍機用潤滑基材の出荷が低調に推移 |
| 医薬・医療・健康 | DDS医薬用製剤原料 | → | → | 一部顧客における上市製品の市場展開の遅延による需要減があったものの、その他顧客向け製品が堅調に推移したこと等により、昨年度並みを維持 |
| | 食用加工油脂・食品機能材 | ↑ | → | 原燃料価格上昇を受け適正価格維持に努めた |
| 化薬 | 防衛関連製品 | ↑ | ↑ | 早期装備化の初度費に係る収益および防衛関連製品全般の堅調な需要により増益 |
| | 宇宙関連製品 | ↑ | ↑ | ロケット向け製品の出荷が増加し、増益 |

設備投資・研究開発

設備投資の実績・予定

| | 【億円】 | |
|---------|--------------|--------------|
| | 2025年度 実績 | 2026年度 予定 |
| 設備投資 ※1 | 344 | 705 |
| 減価償却費 | 221 | 675 |

※1 換取ベース

研究開発費の実績・予定

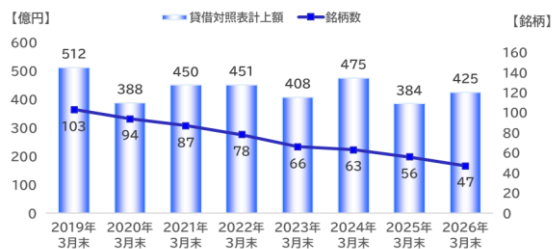
| | 【億円】 | |
|--------------|--------------|--------------|
| | 2025年度 実績 | 2026年度 予定 |
| 機能化学品 | 40 | 42 |
| 医薬・医療・健康 | 19 | 19 |
| 化薬 | 13 | 13 |
| 共通(コーポレート)※2 | 10 | 15 |
| グループ合計 | 81 | 89 |

※2 産学連携とスタートアップとの協業を含む

政策保有株式の縮減方針

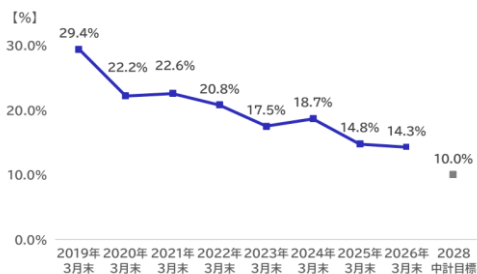
2025中計での政策保有株式純資産比率15%以下の目標を達成
2028中計においては政策保有株式純資産比率**10%以下**に向けて、政策保有株式の縮減を進める

政策保有株式の保有状況の推移



連結純資産比率※の推移

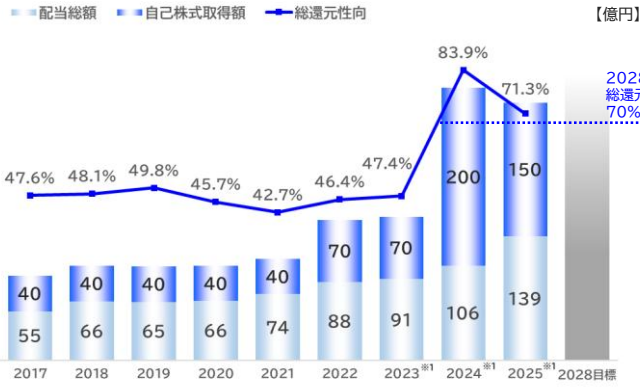
2025年度は9銘柄削減、6銘柄一部売却により純資産比率は14.3%へ減少



※政策保有株式の貸借対照表計上額および
みなし保有株式の合計額を純資産で除した比率

株主還元方針

中長期的な累進配当を目指すとともに、資本効率の向上に向けて機動的な自己株式の取得を検討するなど、将来の成長投資とのバランスをとりながら、今後も安定的な利益還元を実施



株主還元方針

中期的なFCFの見通し、財務健全性、成長投資と株主還元のバランスなどから株主還元の水準を判断する

2025年度実績から+約10%となる**配当性向 40%程度**を目安とし、安定的な配当の維持継続を基本に、中長期的な累進配当を目指す

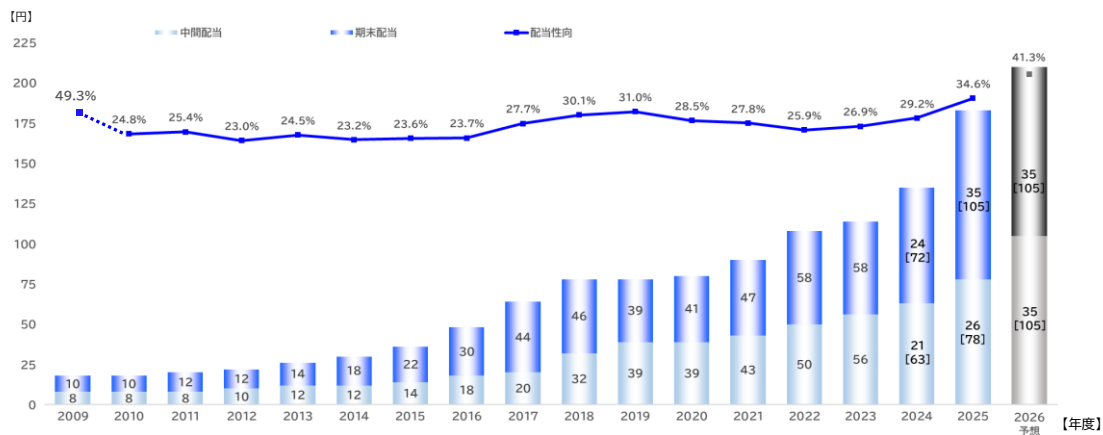
資本効率向上に向け自己株式取得**総還元性向 70%以上**を目安に2028中計期間は株主還元の規模を拡大

| 【年度】 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 ^{※1} | 2024 ^{※1} | 2025 ^{※1} | 2028目標 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------------------|
| 1株あたり配当金(円) | 64 | 78 | 78 | 80 | 90 | 108 | 114 | 45 ^{※2} | 61 | 配当性向 40%程度 70円(2026年度予想) |

※1 本決算発表時の自己株式取得決定額は、当該本決算年度の取得額として集計
 ※2 2024年4月1日付で普通株式1株を3株に分割

株主還元 配当性向

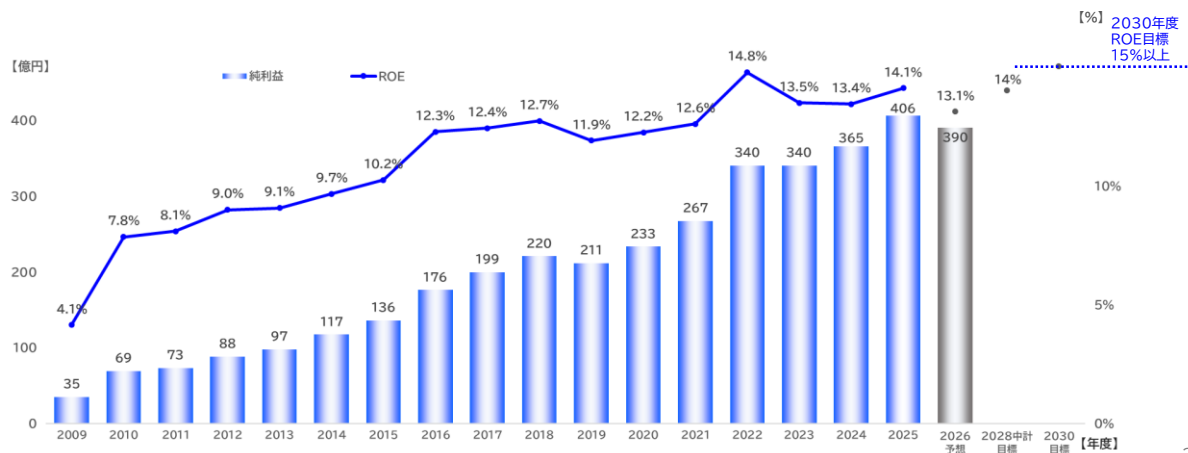
2026年度の年間配当は、70円を予定
2028中計においては配当性向40%程度を目安とし、安定的な配当の維持継続を基本に、中長期的な累進配当を目指す



(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年度中間配当以前の配当金について、普通株式2株につき1株の割合で株式併合した場合の額を記載しております。
また、2024年4月1日付で普通株式1株を3株に分割を行っております。2024年度以降の【】内は、分割前換算値を記載しております。またグラフは、分割前換算値により作成しております。

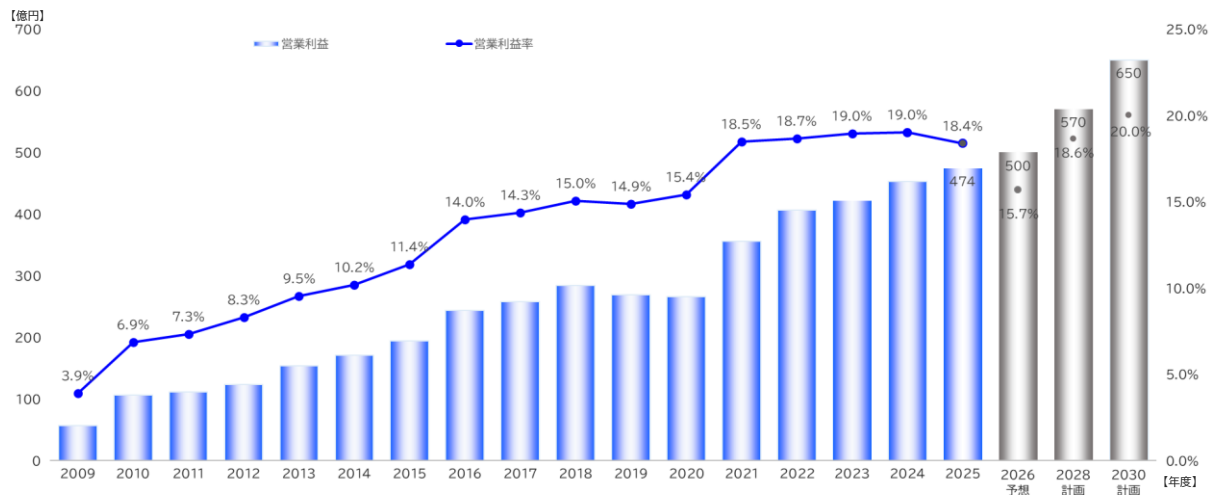
ROE

2025年度は2025中期経営計画におけるROE目標12%以上を達成
 2026年度のROE予想は13.1%
 2028中計では、ROE目標を14%以上と、目標値の引き上げを実施
 2030年度は新たにROE目標15%以上を設定



業績推移

汎用品から高付加価値製品へのシフトおよび成長分野への拡販により、営業利益および営業利益率を拡大



日油グループの事業構成

国内外の幅広い業界の顧客と接点、他社と競合しないニッチ・ハイエンド市場への製品展開を志向
 シクリカルな事業とディフェンシブな事業のバランスによる景気の変動に対する耐性

| セグメント | 事業分類 | 製品分類 | 代表的な製品 |
|----------|------------|--------------|--------------------------------|
| 機能化学品 | 機能材料事業 | 脂肪酸・脂肪酸誘導体 | 脂肪酸、グリセリン、潤滑剤、冷凍機用潤滑基材、トナー用添加剤 |
| | | 界面活性剤 | 化粧品ODM製品、化粧品原料 |
| | | EO・PO誘導体 | 基礎化粧品原料、電子材料素材 |
| | | 有機過酸化物 | 樹脂の重合開始剤 |
| | | 石油化学品 | ポリブテン |
| | | 機能性ポリマー | 防曇剤、樹脂用機能性添加剤 |
| | 防錆事業 | 特殊防錆処理剤 | 水系完全クロムフリー防錆剤(ジオメット®) |
| 医薬・医療・健康 | 機能食品事業 | 食品機能材、食用加工油脂 | 機能性油脂、改質材、マーガリン、ショートニング |
| | | 健康関連製品 | 健康関連素材、油脂コーティング製品 |
| | ライフサイエンス事業 | 生体適合性素材 | MPCポリマー、MPCモノマー |
| | | DDS医薬用製剤原料 | 活性化PEG、機能性脂質、医薬用高純度界面活性剤 |
| 化薬 | 化薬事業 | 産業用爆薬類 | 含水爆薬、電気雷管 |
| | | 宇宙関連製品 | 宇宙ロケット用固体推進薬、宇宙用火工品 |
| | | 防衛関連製品 | 防衛用発射薬、防衛用推進薬、防衛用火工品 |
| | | 機能製品 | 示温材、防犯機器、液状凍結防止剤、海洋機器 |

連結貸借対照表

| 【億円】 | | | | | | | |
|---------------|------------|------------|------|-----------------|------------|------------|--------|
| | 25年 3月末 | 26年 3月末 | 増減額 | | 25年 3月末 | 26年 3月末 | 増減額 |
| 現預金 | 871 | 884 | +13 | 仕入債務 | 239 | 219 | ▲20 |
| 売上債権 | 628 | 785 | +157 | 有利子負債 | 50 | 51 | +1 |
| 棚卸資産 | 573 | 643 | +70 | 繰延税金負債 | 116 | 96 | ▲20 |
| その他流動資産 | 48 | 56 | +8 | その他 | 372 | 661 | +289 |
| 有形・無形 固定資産 | 870 | 986 | +116 | (負債)(| 776) | (1,027) | (+251) |
| 投資有価証券 | 419 | 461 | +42 | 株主資本 | 2,467 | 2,557 | +90 |
| その他 | 163 | 176 | +13 | その他の包括利 益累計額 | 318 | 397 | +79 |
| | | | | 非支配株主持分 | 10 | 11 | +1 |
| | | | | (純資産)(| 2,796) | (2,965) | (+169) |
| 資産 | 3,572 | 3,992 | +420 | 負債・純資産 | 3,572 | 3,992 | +420 |

連結キャッシュ・フロー計算書

【億円】

| | 2024年度 | 2025年度 |
|---------------------|--------|--------|
| 1. 営業活動によるキャッシュ・フロー | 290 | 359 |
| 2. 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲137 | ▲44 |
| 投資有価証券売却 | 52 | 108 |
| 固定資産取得 | ▲163 | ▲144 |
| その他 | ▲26 | ▲8 |
| 3. 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲220 | ▲314 |
| 長期・短期借入金の増減 | ▲2 | 0 |
| 自己株式取得 | ▲120 | ▲200 |
| 配当金の支払 | ▲96 | ▲115 |
| その他 | ▲2 | 1 |
| 4. その他 | 20 | 2 |
| 1~4の計 | ▲48 | 3 |
| 5. 期末残高 | 827 | 830 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 152 | 314 |

指標推移(1)

| | | 2024年度 | 2025年度 | 前期比 |
|---------------------|-----|--------|--------|-------|
| 売上高営業利益率 | [%] | 19.0 | 18.4 | ▲0.6 |
| 売上高経常利益率 | [%] | 19.5 | 19.5 | ▲0.0 |
| ROA (総資産経常利益率) | [%] | 13.3 | 13.3 | ▲0.0 |
| ROE (自己資本当期純利益率) | [%] | 13.4 | 14.1 | +0.7 |
| D/E レシオ | [倍] | 0.02 | 0.02 | ▲0.00 |
| 自己資本比率 | [%] | 78.0 | 74.0 | ▲4.0 |

指標推移(2)

| | | 2024年度 | 2025年度 | 前期比 |
|--------------|------------|---------|---------|--------|
| 1株当たり当期純利益 | [円] | 153.9 | 176.3 | +22.5 |
| 1株当たり純資産 | [円] | 1,192.7 | 1,304.3 | +111.7 |
| 1株当たり配当 | [円] | 45 | 61 | +16 |
| 配当性向 | [%] | 29.2 | 34.6 | +5.3 |
| 3月末当社株価 | [円] | 2,020.0 | 3,101.0 | |
| | cf. 日経平均株価 | 35,618 | 51,064 | |
| 株価純資産倍率(PBR) | [倍] | 1.69 | 2.38 | +0.68 |
| 株価収益率(PER) | [倍] | 13.1 | 17.6 | +4.5 |

- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先： 日油株式会社
コーポレート・コミュニケーション部 IR室 佐藤 一大
住 所： 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電 話： 03-5424-6651
F A X： 03-6634-6471
E - m a i l： iroffice@nof.co.jp
ホ ー ム ペ ー ジ： <https://www.nof.co.jp>